

# 平成26年度事業報告書

「富山県花と緑の新世紀プラン」に基づき「花と緑と人が輝く元気とやまの創造」を目標に、県民総参加による花と緑の県づくりを「花と緑をはぐくむ」「花と緑にふれあう」「花と緑をすすめる」の3つの柱のもとに推進した。

特に26年度は、平成27年3月の北陸新幹線の開業に合わせ、各新幹線駅構内や駅前周辺において、新駅に降り立つ県外観光客等に「チューリップ」や「富山ゆかりのさくら」など花と緑でおもてなしするための事業に取り組んだ。

また、県の指定管理施設である富山県中央植物園及び県民公園頼成の森の適切な運営管理に努めた。

## I 銀行事業（公益目的事業1）

1 花と緑をはぐくむ事業 56,426,000円

(1) 花と緑の地域づくり費 22,690,000円

### ア 花の種苗配布事業

緑化グループや身近な施設等へ夏花壇用草花苗や秋植え球根を配布し、地域の特色を生かした花づくりを推進した。

・夏花壇用プラグ苗	アゲラタムなど	27種	349,483株
・夏花壇用ポット苗	サルビアなど	49種	177,178株
・秋植球根	チューリップなど	4種	129,385球

### イ 緑化木配布事業

住民の憩いの場になっている花壇等において、緑のボリュームアップのための緑化や、緑化行事において緑化木を配布し、地域の特色を生かした緑づくりを推進した。

・支店緑化運動苗木配布	12市町	57種	2,819本
・とやま森の祭典	小矢部市	ウメ	700本
・寄贈を受けた苗木配布	ヤマザクラ	南砺市才川七（IOX）に配布	100本

### ウ 増殖種苗情報ネットワーク事業

各緑化グループの余剰苗や不足苗に関する情報を銀行間でネットワーク化し、種苗の相互有効活用促進と、緑化グループ間の交流の促進を図った。

- (2) 地域の緑づくり推進事業 1,639,000 円  
 公共施設等の敷地に樹木を植栽し、地域住民がふれあえる場を造成するとともに地域の緑化を推進した。  
 滑川市運動公園・音沢親水公園など 5カ所(4支店)
- (3) 地域の花づくり推進事業 5,291,000 円  
 ア 花壇造成事業  
 間伐材や石などを使った自然風花壇の新規造成及び改良を促進した。  
 高岡市小勢公民館など 20カ所(3支店)  
 イ 土壌改良事業  
 宿根草や花木を取り入れ、緑と調和した自然風な花壇への改良を促進した。  
 富山市八木山公民館など 512カ所(8支店)
- (4) 学校緑化促進事業 714,000 円  
 学校での緑化活動を通じ、緑化意識の高揚を図るとともに良好な学習環境づくりを推進した。
- ア 記念樹植栽 2校
- イ チューリップの学級づくり 878学級
- (5) 支店活動費 14,421,000 円  
 花と緑に関する各種コンクールの実施や地方銀行の活動促進のための各種研修の開催など、支店主体の事業展開及び地方銀行からの要望に添った緑化活動を推進した。  
 15支店
- (6) 花だより花壇管理運営事業 2,469,000 円  
 県内1箇所の花だより花壇の維持管理を実施した。  
 富山空港ロータリー (19.3 m<sup>2</sup>)
- (7) おもてなしフラワー事業 2,209,000 円  
 北陸新幹線の開業に伴い、観光地等を花で飾り、訪れた方により良い印象を持っていただくために、地域住民の意識向上を図り、地域の活性化を図った。
- ・組織体制づくり (1年目)  
 高岡市勝興寺寺内町通り周辺など 5カ所 (5支店)
  - ・フラワーポット設置 (2年目)  
 J R越中八尾駅周辺など 3カ所 (3支店)
  - ・維持管理 (3年目～5年目)  
 南砺市菅沼合掌集落など 3カ所 (3支店)

(8) 新幹線駅周辺花いっぱいおもてなし事業

6,993,000 円

各北陸新幹線駅構内において、県外観光客等を花と緑でおもてなしするための花壇  
枠の設置、維持管理を実施した。

富山駅、新高岡駅、黒部宇奈月温泉駅 3 駅

以上 (1) ~ (5)、(7) の事業については、支店へ交付金交付により実施した。

## 2 花と緑にふれあう事業

10,221,000 円

### (1) 普及啓発費

10,221,000 円

#### ア 花と緑の各種コンクールの実施

花と緑を活かした美しい地域づくりを推進するために、花と緑の各種コンクールを実施した。

#### (ア) 富山県花のまちづくりコンクール

##### ・学校花壇の部

最優秀賞 富山市 四方小学校など 応募 40 校

##### ・幼稚園・保育所花壇の部

最優秀賞 氷見市 明和保育園など 応募 44 施設

##### ・一般花壇の部

最優秀賞 射水市 黒河地域振興会など 応募 215 団体

##### ・花の道の部

最優秀賞 南砺市 桐木花と緑の活動推進協議会など 応募 53 団体

#### (イ) 花と緑のポスター原画、標語コンクール

・ポスター原画の部 細野 耕平さん(富山市)など 応募 3,690 点

・標語の部 稲垣 龍映さん(砺波市)など 応募 930 点

花と緑のコンクール参加状況(H19～H26年度)

コンクール名	年度別参加数								開始年度	備考
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26		
学校花壇	53	53	55	52	50	53	47	40	S49～	
幼稚園・保育所花壇	58	60	53	48	48	52	46	44	H5～	
花の道	41	46	39	38	39	39	50	53	H11～	
一般花壇	159	156	159	120	136	185	217	215	S59～	H24から一般花壇部門と個人花壇部門を統合
個人花壇	7	16	18	14	11				H12～	
花と緑のポスター原画	2,180	2,633	2,917	3,792	3,785	3,659	3,723	3,690	S48～	
花と緑の標語	1,265	762	526	604	446	304	1,083	930	S50～	

イ 「平成26年度花とみどり・ふれあいフェア」の開催

県民生活の中に、花と緑を活用した彩り豊かで潤いと安らぎのある生活スタイルを提案するとともに、県民の緑化意識の高揚を図るイベントを開催した。

平成27年 2月28日(土)～3月1日(日)

フューチャーシティ ファボーレ 入場者数 26,240人

主な内容

(ア) コンテナガーデンコンテスト作品展示

年末、正月から春先まで庭先・玄関を花と緑で飾る方法として県民に提案

① 私の寄せ植え(小型・プランター部門) : 県下頭取・グリーンキーパー及び一般県民からの応募作品・・・27点

② 大型部門 : 花と緑の銀行各支店・地方銀行の作品・・・14点

(イ) 花と緑等に関する展示

・チューリップ新品種(13鉢)、椿の名品(22鉢)、スイセン(100品種)、県内生産者の切り花・鉢花、新幹線に“ふれあう花壇”、富山のさくら春を彩る“早春の庭園”、春の切り花(展示・販売)

(ウ) 花と緑の活用に関する体験教室の実施

① 体験教室・・・・・・・・・「花贈りの花束づくり」、「春を呼ぶ生け花教室」(事前予約+当日受付) 「早春を彩る寄せ植え教室」

② 展示・体験・・・・・・・・・「カラーサンドグリーン」、「アロマテラピー」、「木工(当日随時受付) 教室」

(エ) 花と緑の銀行の事業関連

① 表彰式・・・・・・・・・コンテナガーデンコンテスト(2月28日)

② パネル展示・・・・平成26年度花と緑のコンクール入賞作品展(ポスター、標語、花壇写真;2月21日～3月1日)

③ 花の種貸し出し・・・・2月28日～3月1日、96種類、3000袋、224人

(オ) イベントの実施

① ステージイベント

地元保育園園児演奏会(1団体)

② お楽しみ抽選会 2月28日、3月1日

③ 市町村イベント案内コーナー

となみチューリップフェア2015、にゅうぜんフラワーロード2015

④ イメージキャラクター出演

はなぴー(花と緑の銀行)、ジャンボヘル3世(入善町)

(カ) パネル展示

「花と緑の銀行の活動」

ウ 「第42回花と緑の大会」の開催

花と緑の功労者及びコンクール入賞者の表彰及び花と緑の講演会を開催した。  
平成26年10月30日(木) 富山県教育文化会館

- 「同時開催」
- ・平成26年度 緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰  
砺波市「高波花と緑の推進協議会」展示
  - ・平成26年度 第24回全国花のまちづくりコンクール  
花のまちづくり大賞(農林水産大臣賞)「南砺市」展示
  - ・平成26年度 富山県花と緑のコンクール入賞作品及び花壇写真展示

(ア) 花と緑の功労者表彰

県知事表彰	個人	4名	団体	1団体
理事長表彰	個人	15名	団体	6団体

(イ) 花と緑のコンクール入賞者表彰

学校花壇の部	14校	(最優秀1, 優秀4, 優良5, 奨励3, 努力1)
幼稚園・保育所花壇の部	12施設	(最優秀1, 優秀4, 優良5, 奨励1, 努力1)
一般花壇の部	21団体	(最優秀1, 優秀6, 優良7, 奨励4, 努力2, 若葉1)
花の道の部	15団体	(最優秀1, 優秀4, 優良4, 奨励3, 努力3)
ポスター原画の部	46名	(最優秀1, 優秀2, 優良3, 審査員特別賞1, 佳作39)
標語の部	18名	(最優秀1, 優秀2, 優良3, 佳作12)

(ウ) 花と緑の講演会

「育てて楽しむ花壇づくり」

講師 恵泉女学園大学非常勤講師  
山・高瀬計画室 代表取締役社長 山 浩美氏

エ 2014 ドングリ集め in 植物園

県民主役の花と緑の県づくりの一層の推進を図るため、子供にも親しみやすいドングリを媒体とし「自ら木の実を拾い、植え、育てる」イベントを実施した。

平成26年10月11日(日) 富山県中央植物園 参加者 54名

オ コンテナガーデンコンテストの開催

地域緑化の指導者として活動している頭取・グリーンキーパーの日頃の活動の成果を発表する機会としてコンテストを開催した。

平成27年2月21日(土)～3月1日(日)

フューチャーシティ ファボーレ 出展数 14作品

入賞 6作品 (コンテナガーデン大賞1, 優秀賞2, 特別賞3)

## カ 花のまちづくり新拠点創出支援事業の実施

地域緑化活動面の広がり支援するため、新たな緑化活動のきっかけとなる花壇教室や緑化相談を行い、地方銀行を核とした花のまちづくりが創出されるよう支援した。

花のまちづくり新拠点創出支援事業の実施個所一覧

No	支店	地方銀行	日時	場所	内容
1	魚津	西布施	2014/4/6(日) 7:00~9:00	花の森・天神山ガーデン(魚津市小川寺、天神山野球場隣)	・花壇づくり教室(基本的な構想、土づくり、施肥、環水、日々の手入れ) ・花壇づくり体験(花壇への植え付け)
2	富山	杉原	2014/6/3(火) 9:00~10:00	富山市立杉原小学校(富山市八尾町黒田3636)	・始めの言葉(児童代表の始めの言葉、講師の紹介) ・寄せ植えプランターづくり体験(講師の指導によりプランターへの花苗の植栽、32サイズのプランター24個を学校正面広場に設置) ・終わりの言葉(児童代表の終わりの言葉)
3	富山	宮川	2014/6/11(水) 10:00~11:00	宮川保育所(富山市婦中町広田)	・保育所園児等による花壇体験(プランターに花苗を植え、水やりを実施) ・花苗が植えられたプランターを保育所と宮川地区センターに設置
4	氷見	布勢	2014/6/25(水) 13:30~16:00	布勢地区活性化センター(氷見市深原637)	・花づくりの講義(苗の植え付け、水やり、施肥、花と枝の処理、病虫害の防ぎ方) ・花壇体験(プランターによる花壇体験) ・花苗の植え方や管理の方法に関するパネル展示
5	黒部	東布施	2014/6/27(金) 10:00~12:00	旧東布施小学校体育館(黒部市釈迦堂1192)	・液晶プロジェクターを利用した黒部支店と東布施地方銀行の活動の紹介 ・花壇づくりについての講義(植栽する花の特徴、株分けの方法、土づくり等) ・プランタによる花壇づくりの実技(6種類の花苗を苗の高さ、色の配置等を考慮して寄せ植え体験)
6	南砺	福野北部	2014/6/29(日) 7:30~9:00	南砺市野尻農村公園(南砺市野尻652-2)	・講師の指導により、プランターに土と堆肥を混ぜて、土壌をつくり、花苗を植栽 ・講師による植栽の注意点、肥料のやり方等の指導
7	入善	小摺戸	2014/7/26(土) 9:00~11:00	福島公民館ホール(下新川郡入善町福島)	・本事業の説明 ・プランターによる植栽体験(寄せ植え) ・花壇づくりの講義(講師による花壇管理の講義) ・花壇管理に関する相談 ・寄せ植えコンクールへの出展等についての説明
8	氷見	阿尾	2014/10/22(水) 13:30~16:00	阿尾コミュニティセンター(氷見市阿尾1015)	・花づくりの講義(苗の植え付け、水やり、施肥、花と枝の処理、病虫害の防ぎ方) ・花壇体験(プランターによる花壇体験) ・花苗の植え方や管理の方法に関するパネル展示
9	射水	櫛田	2014/10/26(日) 9:30~11:00	櫛田コミュニティセンター(射水市串田864-1)	・花壇教室(宿根草の講義) ・花壇への植え付けを実施
10	上市	白萩	2014/11/9(日) 9:00~12:30	白萩西部公民館(上市町湯上野5)	・花と寄せ植え教室と花壇づくり体験 ・花と緑の園芸相談 ・活動体験発表 ・パネル展示

## キ 普及広報活動

- (ア) 広報誌「花と緑の銀行だより」の発行 年間4回 1回 3,800部
- (イ) 普及啓発用ポスター・カレンダーの配布(地方銀行、小中学校等へ配布) 2,700枚
- (ウ) 花と緑に関する情報提供

ホームページにより、さくら開花情報、花だより、花と緑のイベント、草花や緑化木の管理等及び各施設の情報を提供した。

(公財)花と緑の銀行(<http://www.bgtym.org/fgbank/>)

富山県中央植物園(<http://www.bgtym.org/>)

県民公園「頼成の森」(<http://www.bgtym.org/ranjyounomori/>)

## ク 「富山のさくら」名所づくり事業

本県のさくらの名所を県民のみならず県外から訪れる観光客などに広く紹介し、地域振興、観光資源としての活用を推進するため、県からの委託事業として実施した。

- (ア) 富山ゆかりのさくらの増殖のため、台木用の種子の採取、台木の養成、芽接ぎ、芽接ぎ苗の養成を実施した。
- (イ) 案内人の配置(富山県中央植物園、黒部百年桜、黒部月訪の桜、城端別院善徳寺、向野のエドヒガン、八尾城ヶ山公園、前沢ガーデン桜花園)、さくら守のステップアップ研修(20名参加)を実施した。



### 3 花と緑をすすめる事業

6,708,000 円

#### (1) 花と緑の指導者育成事業

6,708,000 円

##### ア 新任頭取・グリーンキーパー研修の実施

新規に委嘱、登録された頭取・グリーンキーパーの責務の醸成と花と緑に関する知識・技術の向上のための研修を実施した。 5月～11月 年間 5回

受講者 : 頭取・グリーンキーパー 147名

研修講座	月 日	研 修 内 容
第1回	5月23日 (金)	・花と緑の地域づくりについて ・花と緑の銀行の活動と頭取・グリーンキーパーの役割
第2回	5月23日 (金)	・草花栽培の基礎知識
第3回	8月20日 (水)	・花と緑の活動事例、花壇見学 四方花のみち・小学校・保育所、歌の森運動公園西側広場花壇、 八尾園ふれあい花壇、大沢野サルビア園花壇、 富山県中央植物園
第4回	11月18日 (水)	・土づくりと肥料のやり方 ・花の病害虫の見分け方と防除
第5回	11月18日 (水)	・花と緑の地域活動の進め方 ・花と緑の普及推進や地域活動 ・意見交換

##### イ 現任グリーンキーパー資質向上研修

再任された現任グリーンキーパーを対象に、花と緑に関するより豊富な知識を得るための研修を行い、地域のリーダーとしての自覚と意識の高揚を図った。

前年度に引き続き、一人でも多く、参加いただくために、県東部、県中央部、県西部の3会場に分けて実施した。

【県東部】平成26年6月26日(木) コラーレ(黒部市) 受講者110名

内容 : 最近の花壇苗品種

講師 (株)サカタのタネ 西日本支店 名古屋営業所  
井原 隆 氏

【県中央部】平成26年7月2日(水) ファボーレホール 受講者105名

内容 : 「宿根草を生かした花壇づくり」

講師 専門学校 職藝学院  
教授・職藝基礎研究センター研究員  
渡邊 美保子 氏

【県西部】平成26年6月18日(水) ヘリオス(南砺市) 受講者280名

内容 : みんなで進める「花のまちづくり」

講師 日本花の会 主任研究員 樹木医

和田 博幸氏

ウ 頭取・グリーンキーパーステップアップ研修

現在活動している頭取・グリーンキーパーのうち、さらに花と緑について知識を深め、地域のリーダーとして総合的な地域緑化を担う専門知識を有する人材を育成した。  
4月～11月 年間20回

ステップアップ研修実施内容 修了者：21名

回数	月日	区分	研修内容
第1回	4月11日(金)	午前	花壇づくりの基礎知識1(講義)
第2回		午後	花壇づくりの基礎知識2(講義)
第3回	4月25日(金)	午前	花壇実習1(実習)
第4回		午後	花のまちづくり1(講義)
第5回	5月16日(金)	午前	花壇づくりの基礎知識3(講義)
第6回		午後	樹木管理の基礎知識(講義)
第7回	5月30日(金)	午前	花壇実習2(実習)
第8回		午後	コンテナガーデニング(実習)
第9回	6月20日(金)	午前	植物管理の基礎知識1(講義)
第10回		午後	花壇実習3(実習)
第11回	7月4日(金)	午前	植物管理の基礎知識2(講義)
第12回		午後	花壇実習4(実習)
第13回	7月14日(月)	午前	花壇実習5(実習)
第14回	8月4日(月)	午前	花壇実習6(実習)
第15回	8月29日(金)	午前	花壇実習7(実習)
第16回	9月19日(金)	午前	花壇実習8(実習)
第17回	10月3日(金)	全日	花のまちづくり2(現地視察)
第18回	10月17日(金)	午前	花壇実習9(実習)
第19回	11月14日(金)	午前	花壇実習10(実習)
第20回	11月28日(金)	午前	花のまちづくり3(講義)

エ フラワーグリーンバス教室の実施

頭取、グリーンキーパーが花と緑のまちづくり推進に必要な知識・情報を得ることにより、地域活動の向上に資するため研修を開催した。

日時：平成26年6月5日（木）～6日（金）・・・静岡県浜松市

場所：①浜名湖花博2014 浜名湖ガーデンパーク会場・・・「全国都市緑化フェア」

②浜名湖花博2014 はままつフラワーパーク会場・・・花博10周年記念 等

参加者：64人

<参考>

平成26年7月1日現在の人数 頭取 311名 グリーンキーパー 1,833名

## Ⅱ 富山県中央植物園の管理運営業務(公益目的事業2)

334,382,040 円

富山県中央植物園の指定管理者として、花と緑の運動推進のシンボル施設として県民の方々に支持され、利用者に満足の得られる施設となるよう適正な管理に努めた。また、植物及び植物との関わりを学ぶ場、憩い安らぐ場を提供するとともに、富山県植物公園ネットワークのセンター的機能を果たした。また、北陸新幹線開業に合わせ、記念展「富山でお花見」を開催したほか、(公社)日本植物園協会の生物多様性保全拠点園として、中央植物園が取り組んでいる絶滅危惧植物の生息域外保全の成果を展示するため、高山植物室を高山・絶滅危惧植物室に改修した。

### 平成 26 年度の新しい取り組み

#### (1) 日本植物園協会第 49 回大会・総会の開催

日本植物園協会大会、総会、各部会、研究発表会を開催した。

(6月12日、13日、於：ホテルグランテラス富山、植物園)

また、日本植物園協会第 49 回大会公開シンポジウム第 22 回 TOYAMA 植物フォーラム「ふるさと富山の植物を守ろう」を開催した。(6月14日)

#### (2) 植物・地理分類学会の開催(5月31日、6月1日、於：植物園)

植物・地理分類学会 2014 年度大会を開催し、5月31日に植物園において総会、大会を、6月1日に有峰でエクスカージョンを行った。

#### (3) イギリスオックスフォード大学植物園種子収集への協力

10月23日～31日の間、同植物園から2名が来県して行った、県内各地での種子採集に同行・協力した。

#### (4) 富山県植物誌改訂版作成に向けての編集委員会設立(6月3日)

富山県植物誌の発行から30年が経過したことから、平成30年度の改訂版出版を目指して、植物園職員や関係者からなる編集委員会を設立した。

#### (5) サクラのバイオ増殖研究会の立ち上げ(7月11日)

県内の農業系高等学校と連携して、バイオ技術による富山県固有のサクラの増殖・保存を行うための「サクラのバイオ増殖研究会」を立ち上げた。

#### (6) 中央植物園友の会ボランティア部会研修旅行開催(11月7日、於：東山植物園)

ガイドボランティアの養成を図るため、植物園では初めてガイドボランティアを導入した愛知県名古屋市東山植物園を視察し、ボランティアによる意見交換を行った。

(7) 温室暖房用ペレットボイラーの稼働

再生可能な木質バイオマスエネルギーの活用と地球温暖化防止対策の一環として、県産のスギ間伐材で製造された木質ペレットを燃料とするペレットボイラーを中央植物園に県が整備したことから、今冬から温室暖房用メインボイラーとして稼働させた。

(8) サンライトホール照明用バトントラスの撤去に伴う天井画の再整備

4本のワイヤーで吊られたサンライトホールのバトントラスは耐震性が危惧されていたが、県は昨年4月の建築基準法改正を受けてバトントラスを撤去して代替の遮光カーテンを設置したことから、植物園では入園者に好評だった天井画を再整備した。

(9) 高山植物室を高山・絶滅危惧植物室への改修

指定管理業務の事業計画書に基づき、高山植物室の約半分を改修して、中央植物園が取り組んでいる絶滅危惧植物の増殖保護の成果を展示植栽できるよう整備した。

(平成27年4月24日に高山・絶滅危惧植物室としてリニューアルオープンした。)

(10) 園内池調査の実施

開園後20年を経た園内の人工池の生物多様性を調べるため、7月31日に水産研究所の協力を得て、園内の池に生育する魚の種類について初めての調査を行った。

(11) 立山カルデラの植物調査実施

立山カルデラ砂防博物館と共同で、9月14日に立山カルデラ内部の植物調査を行った。

(12) ボランティア表彰

友の会ボランティア部会がボランティア活動推進県民会議より10月25日に表彰を受けた。

(13) 平成26年度入園者10万人達成

3月21日に平成26年度の入園者が7年ぶりに10万人を達成し、10万人目となる入園者の親子にデンドロビウムの花鉢を園長より贈呈した。

# 1 施設の維持管理

## 2 植物の管理（屋外展示園、展示温室、栽培温室等）

収集展示植物 約 4,900 種

### ・日本の植物ゾーン

シラカシ、コナラ、ブナ、シラカバ、ニッコウキスゲ、トチノキ、ユキツバキ等

### ・世界の植物ゾーン（展示温室を含む）

バオバブ、アメリカハナノキ、シナユリノキ、ヌマスギ、トウツバキ等

### ・花のプロムナード

ソメイヨシノ、サトザクラ等各種サクラ、フジなど

## 3 入園料等の徴収業務

来園者（平成 26 年 4 月～27 年 3 月）

104,052 名

内 訳

### (ア) 入園者数

102,684 名

#### ・ 有料入園者数

45,620 名

#### ・ 年間パスポート、友の会

15,592 名

#### ・ 無料入園者数（減免、視察など）

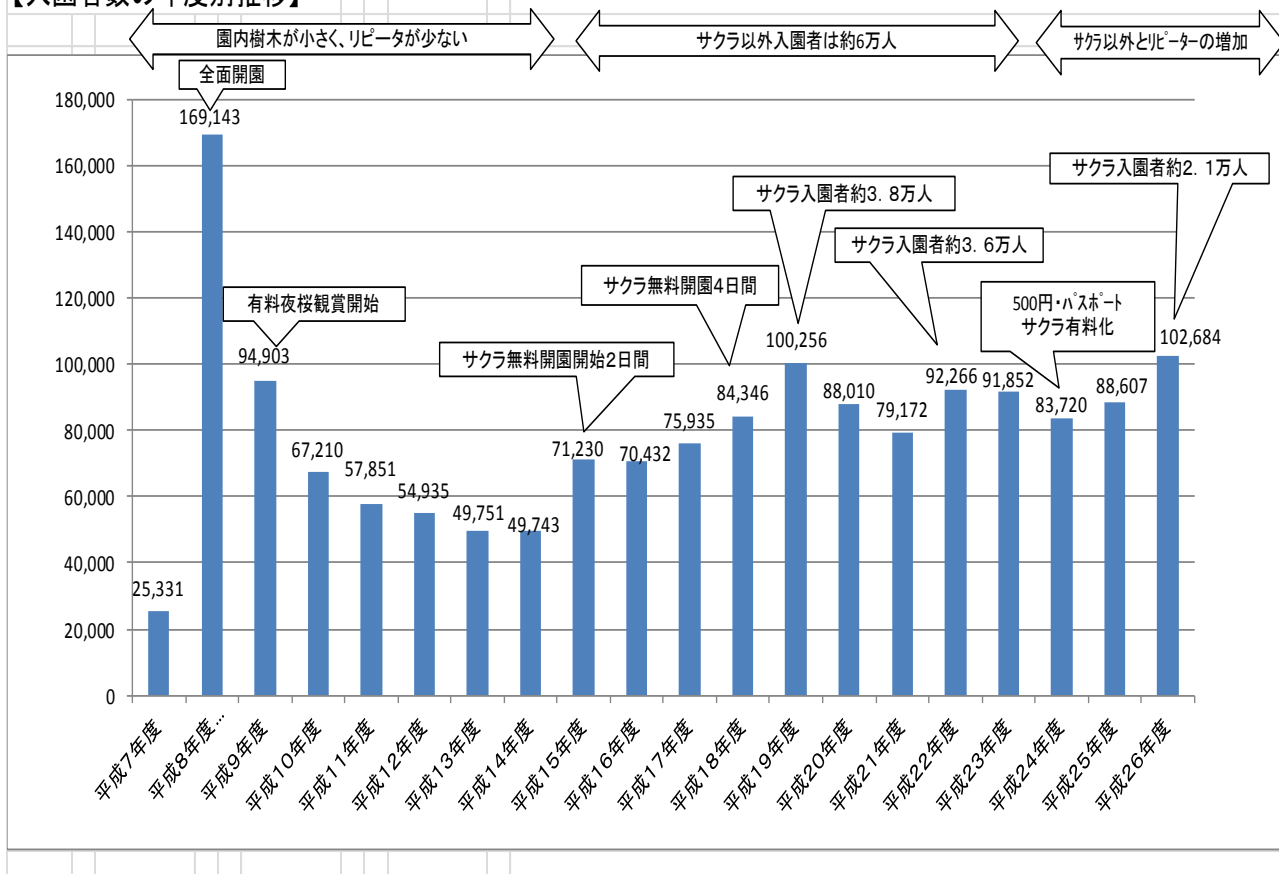
41,472 名

### (イ) 施設利用者数

研修室、実習室等有料利用者

1,368 名

### 【入園者数の年度別推移】



#### 4 植物園活動業務

- (1) 植物の収集・自生地採取 購入により入手が困難な植物採取  
種子交換用植物等の種子採取

(2) 教育・普及

- a サンライトホール企画展・特別展 (注：数字は期間中の入園者数)
- ・北陸の菊桜 (3/14～4/29) 35,567 名  
北陸に特異的に見られ、花卉が100枚以上におよぶ「菊桜」20品種を紹介
  - ・第35回春のラン展 (5/4～5/6) 2,958 名  
富山県蘭協会との共催で春に咲くエビネや洋ランなどを展示
  - ・私の植物画展 (5/9～5/28) 13,310 名  
一般から応募された植物画作品の展示
  - ・さつき展 (5/30～6/1、6/6～6/8) 1,588 名  
1週目は寿さつき会、2週目は富山臯月会のサツキ盆栽を展示
  - ・私の植物写真展 (6/13～7/16) 6,597 名  
一般から応募された写真作品を展示
  - ・食虫植物展 (7/11～7/30) 4,075 名  
ウツボカズラやハエトリグサ、サラセニアなど、食虫植物を展示
  - ・夏休み子ども企画森のクラフト (7/18～8/31) 2,567 名  
どんぐりやまつぼっくりなどを使って工作できるコーナーを設置  
(数字は実際の体験者数)
  - ・「くすりの植物」コーナー開園一周年記念展「売薬版画と富山のくすり」(9/5～10/29) 10,400 名  
富山市売薬資料館等の協力を受けて売薬版画や売薬さんが使用した用具の展示および生薬を展示
  - ・花と緑のコンクール入賞作品展 (11/1～11/18) 2,343 名  
平成26年度に花と緑の銀行が実施した各種コンクールの受賞作品および写真を展示
  - ・第8回秋のラン展 (11/22～11/24) 1,822 名  
富山県蘭協会との共催でカンランや秋咲き洋ランを展示
  - ・クリスマスの植物の展示 (12/5～12/16) 1,916 名  
200鉢のポインセチアのツリーを中心に、30品種のクリスマスカクタスやドイツトウヒのクリスマスツリーを展示
  - ・干支にちなんだ植物展 (12/12～1/21) 3,352 名  
今年の干支「午」と来年の干支「未」にちなんだ植物を展示
  - ・第2回新春カトレヤ展 (1/4～1/7) 823 名  
富山県蘭協会と共催で、1月に咲くカトレヤの仲間を展示
  - ・平成26年度研究発表展 (1/23～2/18) 2,503 名  
職員の研究成果をポスター形式で展示
  - ・第2回クリスマスローズ展 (2/20～2/22) 1,129 名  
富山県で生産された色とりどりのクリスマスローズを70点展示し、東ヨーロッパの自

## 生地の写真を展示

- ・第 43 回蘭まつり大会 (2/27～3/1) 3,597 名  
富山県蘭協会との共催で、洋ランや東洋ランなど多種多様なランを展示し、特別展を「和蘭」として開催
- ・第 11 回雪割草富山県大会 (3/6～3/8) 1,598 名  
富山雪割草の会との共催で、会員が栽培した多様な雪割草を展示
- ・北陸新幹線開業記念展 富山でお花見 (3/13～3/31) 4,219 名  
北陸新幹線の開業に合わせ、富山の桜の名所 30 ヶ所と富山でしか見られない桜 12 品種を紹介

## b 特別開園・特別行事

(注：数字は入園者数)

- ・第 3 回さくらまつり (4/10～4/13) 20,788 名  
園内のソメイヨシノの開花時に合わせ、特別入園料 200 円、開園時間を午後 9 時半までとして実施した。期間中ドリラスコンサート、桜と野鳥の写真展、桜の植物画展、桜のクイズラリー、とやまさくら守の会による桜の観察会、呈茶席など多彩な催しを開催
- ・「県民ふるさとの日」記念無料開園 (5/9～5/11) 9,523 名  
5 月 9 日の「県民ふるさとの日」を記念し 3 日間無料開園
- ・(公社) 日本植物園協会第 49 回大会・総会 (6/12、13)  
植物園協会大会、総会、各部会、研究発表会を開催した。  
(会場：ホテルグランテラス富山)
- ・夜間開園「ゲッカビジン観賞」(7/11、12) 1,510 名  
ゲッカビジンの開花に合わせて夜間開園
- ・夜間開園「オオオニバス観賞会」(8/22、23) 575 名  
夜に咲くオオオニバスの花を観賞するための夜間開園
- ・クリスマスフェア (12/5～7) 1,327 名  
クリスマスカクタスの展示を行い、さらにクリスマスリースづくりやマツボックリのクリスマスツリーづくり、ジャムや西洋野菜などの販売、クリスマススープの無料配布やクリスマスコンサートを開催

## c 講座、講習会

(注：数字は参加者数)

- ・栽培講習会「ランの植え替えと管理」(5/5、6) 99 名  
富山県蘭協会の会員によるランの栽培についての講習
- ・植物写真教室「やさしい花の撮り方」(5/11) 60 名  
富山県写真家協会による撮影マナーの講習と実技指導
- ・植物画講習会「はじめての植物画」(5/24、25) 50 名  
岡田宗男氏、豊田路子氏を講師に、初心者を対象に植物画の講習
- ・(公社) 日本植物園協会第 49 回大会公開シンポジウム、第 22 回 TOYAMA 植物フォーラム「ふるさと富山の植物を守ろう」(6/14) 80 名  
(公社) 日本植物園協会との共催で、富山県自然保護課の山下清澄氏、国立科学博物



館筑波実験植物園の遊川知久氏、富山県中央植物園の大原隆明氏が講演した。

- ・染色体観察法 (8/6) 3名  
光学顕微鏡で植物の染色体を観察した。講師：中田園長
- ・夏休み特別企画オオオニバスに乗ってみよう (8/16～18) 797名  
児童たちが巨大なオオオニバスの葉に乗るイベントを実施
- ・売薬版画解説 (9/7、10/5) 60名  
富山市売薬資料館学芸員兼子心氏が、「売薬版画」の由来・種類・内容の解説を行った。参加者にはミントティーやハブ茶の試飲をしてもらった。
- ・栽培講習会「ランの植え替えと管理」 (11/23、24) 33名  
富山県蘭協会の会員によるランの栽培についての講習
- ・植物園でバードウォッチング (12/7) 20名  
日本野鳥の会富山と共催で、植物園で見られる野鳥の観察会を行った。
- ・平成 26 年度研究発表会 (1/25) 28名  
植物園の職員が行っている研究について映像などを使って発表
- ・講演会「クリスマスローズの自生地を訪ねて」 (2/21) 45名  
松浦園芸の松浦克郎氏がクロアチアやボスニア・ヘルツェゴビナなどに生育するクリスマスローズをスライドで紹介した。
- ・栽培講習会③「クリスマスローズの栽培と管理」 (2/22) 29名  
富山クリスマスローズの会による栽培についての講習を行った。
- ・栽培講習会④「ランの植え替えと管理」 (2/28、3/1) 101名  
富山県蘭協会の会員によるランの栽培についての講習
- ・栽培講習会⑤「雪割草の栽培と管理」 (3/7、8) 72名  
雪割草の栽培と管理についての講習。

d コンサート

(注：数字は参加者数)

- ・さくらまつりコンサート 吟と舞ー春風にのって 渋川流剣詩舞道菊帆会 (4/12) 100名
- ・さくらまつりコンサート TOYAMA ヴォーカル・ソレイユ (4/12) 120名
- ・さくらまつりコンサート レーブ・モマン (4/13) 100名
- ・さくらまつりコンサート 野崎弘通とトリプレッツ (4/13) 60名
- ・緑のコンサート  
シンセサイザー奏者 滝沢卓氏 (5～11 月第 1 土曜日) 延べ 122 名
- ・クリスマスフェアコンサート
  - ① 坂小学校 5 年生合奏、合唱 (12/5) 140 名
  - ② TLC キッズクラブ (12/6) 50 名
  - ③ 富山市立速星中学校合唱部 (12/6) 50 名
  - ④ 富山古楽協会 (12/7) 50 名
  - ⑤ トリプレッツ (12/7) 60 名

e 月例行事

- ・植物ガイドボランティアと歩く植物園―（毎週日曜日） 31回 260名  
毎週1回入園者にボランティア、職員が見頃の植物を案内。
- ・植物ガイド―園長と歩く植物園―（毎月第3日曜日） 12回 186名  
毎月第3日曜日の13:30から14:00に中田園長が見頃の植物を案内。

f 植物園クラブ

- ・ペットボトルのハンギングバスケットづくり（5/3、4） 52名  
母の日のプレゼントとしてペットボトルを容器に花苗を植え、ハンギングバスケットを作った。講師：増山たか子氏
- ・飛ぶタネの模型づくり（6/28、29） 26名  
アオギリやマツ、ラワンなど飛ぶタネをつける植物について解説し、種の模型を作った。
- ・食虫植物を育てよう（7/19、20） 68名  
ハエトリグサの栽培について紹介し、食虫植物を使った夏休みの自由研究を提示した。
- ・顕微鏡・電子顕微鏡で植物を観察しよう（8/4、5） 29名  
顕微鏡と電子顕微鏡で花粉や葉の表面などを観察した。
- ・草木染めをしよう（8/23、24） 49名  
アイの葉を使った絹ハンカチの生葉染めと、カリヤス、コブナグサの葉を使った煮染めを行った。
- ・どんぐりで遊ぼう（10/18、19） 102名  
園内で拾ったどんぐりや、野山の木の実、枝などを使ったおもちゃを作った。富山市立図書館読み聞かせの会がどんぐりの本の読み聞かせを実施
- ・かぼちゃのチョウチンづくり（10/25、26） 145名  
ハロウィンにちなんでかぼちゃをくりぬいてちょうちんを作った。富山市立図書館読み聞かせの会がどんぐりの本の読み聞かせを実施
- ・クリスマス飾りを作ろう（11/29、30） 99名  
フジづる、マツボックリなどの植物を使ったクリスマスリースを作った。富山市立図書館読み聞かせの会がクリスマスにちなんだ本の読み聞かせを実施。  
講師：増山たか子氏
- ・正月飾りを作ろう（12/20、21） 103名  
青竹やモウソウチク、アカマツなどを使ってオリジナルミニ門松を作った。
- ・サトウキビから黒砂糖を作ろう（1/31、2/1） 61名  
サトウキビを粉砕して搾り、加熱して黒砂糖を作った。

g 学校教育支援

- ・学校等への教育支援活動  
オリエンテーリング、どんぐり工作など 56団体 延べ 3,947名

## h 団体対応

- ・来園した団体へ概要説明、ドリアス講座など 92 団体 延べ 2,535 名

## i 研修等

- ・博物館実習（5名） 富山大学
- ・11年次教員研修（9名）
- ・元気とやま体験研修（10名）
- ・社会に学ぶ14才の挑戦（10名）  
西部中（2名）、芝園中（2名）、速星中（3名）、城山中（2名）  
富山県立ふるさと支援学校中学部（1名）
- ・富山市適応障害児指導（42回）
- ・特別支援学級職場体験（11名）  
富山県立ふるさと支援学校（5名）、富山市立速星中学校支援学級（6名）
- ・高校生就業体験ー中央農業高校インターンシップ（4日間、4名）
- ・大学生インターンシップ  
富山大学（3名）

## (3) 情報提供

a ホームページによる情報提供 年間アクセス数 70,016 件

b 植物相談(平成26年4月～平成27年3月) 513 件

- ・県民からの植物同定や栽培相談 388 件
- ・マスコミからの問い合わせ 38 件
- ・植物関係者からの問い合わせ 35 件
- ・保健所からの問い合わせ 6 件
- ・きのこ部会からの問い合わせ 46 件

## c 出版

- ・事業概要第16号 pdf ファイルをHPで公開
- ・植物園だより No. 72～No. 75
- ・研究報告20号

## d データベース

導入植物や文献・標本の登録

## e インフォメーション

園内サンライトホールのインフォメーションコーナーで、見ごろの花や場所などを案内、ドリアスショップで植物苗や絵はがき等の販売

- f マスコミへの情報提供
- ・マスコミにイベント案内や開花情報を提供 70 件
  - ・関連記事の新聞記事掲載 290 件
  - ・北陸中日新聞「植物園レポート」隔週連載 25 回

- g ラジオによる情報提供
- ・KNB ラジオ隔週水曜日生 CM を 26 回放送、スポット CM45 本、生中継 2 回
  - ・FM とやま毎週第 2 水曜日「植物園探検」を 12 回放送
  - ・とやま City FM 4 月～12 月生中継 9 回、スポット CM90 本放送

- h 広告の掲載
- 新聞やテレビ、情報誌、Web site への広告掲載 20 回

#### (4) 調査、研究

##### a 調査研究（研究発表展・発表会のタイトル）

###### ①富山県の植物相と植生に関する調査

- ・富山県植物誌改訂版の発行に向けて
- ・富山県で新たに生育が確認された植物（No.18）
- ・富山県で記録されたきのこ（No.17）
- ・立山におけるササ属植物の雑種形成：葉の表皮構造と花粉稔性による検討
- ・立山に分布するササについて（2）
- ・立山黒部アルペンルート沿線における外来植物の分布状況
- ・ヤマトキホコリにみられる 2 つの繁殖様式

###### ②絶滅危惧植物の実態調査、増殖に関する研究調査

- ・トカラ地域に固有な植物の分布

###### ③導入植物の同定の利用、栽培管理に関する研究

- ・三倍体センノウの自殖による二倍体植物の獲得

###### ④中国雲南省昆明植物研究所との共同研究

- ・中国雲南省南部におけるシュウカイドウ属数種の自生地調査

##### b 資料収集

- ・文献、民俗植物学資料、標本(3,485 点追加)などの収集

#### (5) 植物園交流

##### a 植物公園連絡協議会との連携

- ・研修会（10月17日、於：富山県花総合センター 内容：プリザーブドフラワーアレンジメントづくり、秋を彩る花まつり視察）
- ・総会（3月6日、於：富山県中央植物園）

- ・スタンプラリー（4月1日～12月27日）
- ・ボタニカルアート展の開催  
頼成の森森林科学館（6月20日～6月29日）
- ・講演会の合同開催（10月28日）
- ・植物苗などの交換・譲渡 氷見市海浜植物園に中央植物園からタイワンバナナ、シマバナナなど8株を譲渡

b 国内植物園交流（（公社）日本植物園協会との連携）

- ・（公社）日本植物園協会第49回大会・総会の開催  
（6月12日～13日、於：ホテルグランテラス富山）
- ・（公社）日本植物園協会第49回大会公開シンポジウムの開催  
（6月14日、於：植物園）
- ・（公社）日本植物園協会平成26年度第1回植物研究会への参加  
（7月24日～25日）白馬五竜高山植物園
- ・（公社）日本植物園協会平成26年度第2回植物研究会への参加  
（10月16日～17日）新潟県立植物園
- ・（公社）日本植物園協会第32回国公立園運営会議への参加  
（11月13日～14日、於：高知県立牧野植物園）
- ・（公社）日本植物園協会理事、植物多様性保全委員会外来種導入・栽培ガイドライン分科会座長に中田園長が就任
- ・植物種多様性保全拠点園ネットワークへの参加
- ・ワシントン条約任意放棄植物の寄託管理
- ・国内植物園等との植物苗・種子の交換 提供 6件 導入 10件

c 海外植物園交流

- ・中国科学院昆明植物研究所との共同研究（再掲）
- ・海外植物園との種子交換 提供 16件 導入 15件
- ・文献交換 文献送付と文献受入
- ・イギリスオックスフォード大学植物園の種子収集に協力
- ・イギリスオックスフォード大学植物園よりヨーロッパクロマツ種子を受贈

(6) 事業の検証

利用者及び有識者による平成26年度事業評価委員会を独自に開催。「非常に良くやっております」との評価

### Ⅲ 県民公園頼成の森の管理運営業務（公益目的事業3）

56,851,535 円

県民公園頼成の森の指定管理者として、花と緑の運動推進のシンボル施設として県民の方々に支持され、利用者に満足を得られる施設となるよう適正な管理に努めるとともに、総面積 115 ヘクタールに及ぶ広大な森林を生かした休養の場や体験学習の場を提供した。

#### 1 施設の維持管理

#### 2 県有林の管理（除伐、枯損木処理、遊歩道の展望確保等）

#### 3 植物の管理

- ・ 入口広場の芝生、植栽木の保護育成
- ・ ハナショウブなど水生植物園の保護育成      ハナショウブ   600 品種   70 万株

#### 4 自然や森林生態の学習体験

##### (1) 森林科学館での各種展示

森林の自然生態や頼成の森の四季などをテーマに常設展示

- (2) 第 29 回頼成の森花しょうぶ祭り(6 月 20 日～29 日)入場者数                      59,581 名  
ハナショウブ鑑賞、菖蒲入り足湯、スタンプラリー、育て方講習会、即売会等

##### (3) 月例行事の実施

- ・ キンキマメザクラの観察会                      4 月 6 日                      参加者                      8 名
- ・ 緑に親しむ集い                                      5 月 4 日                      参加者                      326 名  
クイズを解きながら、森の生き物、森林の効用を学ぶとともに、しいたけの植菌体験をする。
- ・ 花しょうぶ染め教室                                  7 月 6 日                      参加者                      13 名  
花しょうぶの花等を使ってしょうぶ染めを体験
- ・ 野鳥と昆虫の観察会                                  7 月 27 日                      参加者                      38 名  
頼成の森、水生植物園内での野鳥・昆虫観察会
- ・ カブトムシウォッチング                              8 月 2・9 日                      参加者                      43 名
- ・ 木工手づくり教室                                      8 月 3 日                      参加者                      44 名  
枝など自然素材を生かした木工工作を楽しむ。
- ・ ドングリ工作教室                                      9 月 28 日                      参加者                      26 名  
ドングリと森の自然素材を使ってオブジェづくり
- ・ 童謡「ふるさと」を歌う。                              9 月 21・28 日                      参加者                      43 名  
オカリナに合わせて歌い、里山を大切に作る気持ちを醸成する。

- ・キノコ狩りと観察会 10月12日 参加者 95名  
キノコの見分け方を学びながら、キノコ汁を楽しむ。
- ・頼成の森・感謝の集い 11月23日 参加者 115名  
頼成の森の1年間を写真や作品で振り返る。
- ・チェーンソー・刈り払い機整備点検講習 12月7日 参加者 11名  
感謝の気持ちを込めて、オーバーホールの手法を学ぶ。
- ・ミニ門松作り 12月21日 参加者 45名  
お正月用のミニ門松を自分で作る。
- ・自作の竹スキーに乗ろう 1月25日 参加者 13名  
孟宗竹で竹スキーを自作し芝生広場で試乗する。
- ・冬も楽しい森の中探検 2月8日 参加者 34名  
カンジキやスノーシューで冬の頼成の森を散策する。

## 5 利用者数（平成26年4月～平成27年3月）

県民公園頼成の森	入場者	155,461人
森林科学館	入館者	15,798人
バーベキュー施設	利用者	913人(121卓)